

大韓航空による広島～ソウル線の新規就航について ～12月23日(水)から毎日運航～

1 要旨

大韓航空による、広島～ソウル線の定期路線開設が決定し、令和8年12月23日から週7往復で運航されます。

これにより、既存の航空会社便と合わせて、広島～ソウル線は1日3往復の運航となります。

2 概要

(1) 運航開始

令和8年12月23日(水)

(2) 運航便数

週7往復

(3) 使用機材

A321neo (182席)

(4) ダイヤ

便名	仁川発	広島着	広島発	仁川着	運航日
KE2183/2184	10:35	12:15	13:25	15:25	毎日

3 大韓航空について

- 韓国のソウルを本拠地とする、韓国最大のフラッグ・キャリア
- 世界34か国108都市(日本16空港)へのネットワークを展開

【知事コメント】

- この度、大韓航空より、広島～ソウル線を、12月23日から週7往復運航することが発表されました。
- これにより、既存の航空会社便と合わせて、広島～ソウル線は1日3往復となり、ダイヤなどの利便性が格段に向上するものと考えております。
- また、大韓航空は、仁川国際空港をハブとし、世界34か国108都市(日本16空港)へのネットワークを展開していることから、乗り継ぎによる世界各国との往来がさらに便利になります。
- 今後、ビジネスや観光など幅広い分野で韓国との相互交流が一層活発になること、また、広島空港がさらに活用され交通の拠点性が高まることを期待しております。

KOREAN AIR NEWS 26-025

2026 年 8 月 24 日

大韓航空 広島⇄ソウル(仁川)新規就航 2026 年 12 月 23 日より毎日運航

大韓航空は 2026 年 12 月 23 日(水)より広島⇄ソウル(仁川)路線を新規就航いたします。広島発着路線は大韓航空の定期便としては初となります。

本路線は毎日運航し、使用機材はエアバス A321neo を予定しています。フルフラットになるビジネスクラスをはじめ、最新の機内エンターテインメント設備や機内食サービスで、ソウルまでの快適な空の旅をお届けします。

今回の広島就航により、大韓航空の就航地(旅客)は世界 34 カ国 108 都市(日本 16 空港)へと拡大します。大韓航空のグローバルネットワークを通じて、広島から世界へのアクセス向上と、世界から広島へのインバウンド需要創出を目指します。

■ 広島⇄ソウル(仁川) 運航スケジュール

便名	路線	発着時間	運航日	機材
KE2184	広島ーソウル(仁川)	13:25-15:25	毎日	A321neo
KE2183	ソウル(仁川)ー広島	10:35-12:15	毎日	

※A321neo:ビジネス 8 席、エコノミー174 席

※上記計画は政府認可を前提としており、スケジュールおよび使用機材は予告なしに変更される場合があります。



A321neo



A321neo プレステージクラス



A321neo エコノミークラス

大韓航空 就航地(旅客) *メルボルン/12月18日就航、広島/12月23日就航含む

・世界全体: 34カ国 108都市

・日本: 成田、羽田、大阪、名古屋、福岡、札幌、青森、新潟、小松、神戸、岡山、長崎、熊本、鹿児島、沖縄、広島(16空港)

◇上記記事に関するお問い合わせ: 大韓航空 広報担当 瀬川由美 電話: 03-6747-3969 Email: pr@koreanair.co.jp

大韓航空広報事務局(共同ピーアール内): 担当 伊藤、川嶋 Email: koreanair-pr@kyodo-pr.co.jp

◇予約に関するお問い合わせ: 日本地域サービスセンター 電話: 03-6868-0777